



一般社団法人
日本善行会

〒100-0006
東京都千代田区有楽町
2-10-1 東京交通会館内
TEL (03) 3212-6996
FAX (03) 3212-6998
URL: http://www.zenkoukai.or.jp
メール: info@zenkoukai.or.jp

毎月1日発行
編集発行人 相澤 克也

善行は、社会を
照らすともしび。

継続は力なり。 多くの善行者に感謝

一般社団法人日本善行会 副会長 相澤 克也



奉仕活動はお決まりの言葉ですが「他人から言われてやるものでなく、見返りを望むものでなく、継続が何より」と多くの先達からの教えにありました。

昭和十二年に青少年の健全育成を進めるにあたり時の大先輩諸兄は世のため、人の為善行活動をしていく青少年を褒め称える組織の結成をみて、時の大戦を挟みながらも昨年は日本善行会創立八十周年の節目に心差しを同じくする沢山の賛同者のご参加を頂いて東京市ヶ谷の会場で記念式典、ア

トラクション、記念祝賀会を盛大に開催することが出来、古きを訪ねて新しきを探し次なる九十年に向けて参加者一同心を一つに誓いありました。

本年は明治維新から百五十年、明治・大正・昭和・平成と移り天皇陛下ご即位を契機に新しい次なる希望に溢れた世代に 変わろうとしております。

幸いにも当善行会はこの数年に、篤志家による高額の浄財をお預かりする事が出来て最低限の諸活動の費用の補助をすることが可能になりました。誠に善行活動を深いご理解の賜物とうれしい限りです。

時はそつと陰の方でと云われます。世の為人の為社会に尽くされた方々に善行章をお受けになられた方は通算六万一千人余りになります。少子高齢化時代を迎え社会構造は大きく変遷してきます。全国の支部の方々の善行活動の推進は多くの諸問題を抱え何かと大変の事と存じます。東京本部では本年も支部活動のご支援助とご協力に最大限の力を留意します。本年も財政基盤の確立のため会員諸兄、関係者各位のお力でお一人でも多くの仲間を増やしていただき平穏な平成三十九年度を実のある充実した年になります事を切にお願いをして貴重な紙面をお借りして所感を述べさせていただきますました。

※本会は善行精神の普及と善行の実践を通して明るい住みよい社会環境づくりにつとめております。会員会費と個人・企業・地方公共団体からの賛助金により運営されております。広く会員を募集しております。

善行表彰を受けて

宮崎県延岡市

坂本 裕司



この度、栄えある秋季善行表彰を賜り、衷心より御礼申し上げます。顧みますと、私が今回の受賞に至る一連の社会貢献活動を始めたきっかけは、阪神淡路大震災の復興支援に赴いた事と、大阪の池田小学校児童殺傷事件でありました。被災者や被害者の方々の御苦勞やご心痛に思いを馳

受賞者の喜びの声

善行表彰を受けて

兵庫県多可町
著荷むら芝居保存会



せ、自分の住む地域での防災減災のため現地で得た体験や知識を役に立てたいと防災士や防犯設備士の資格を取得して講習や講演活動を通じて来ましたが、それを評価・顕彰して頂き今後の励みとなりました。防犯を含む防災減災は、住みよい地域社会の必須条件です。少子高齢化や景気悪化による社会貢献活動の担い手不足や無関心層に対する啓蒙活動などの課題もありませんが、今後も自主防災組織や青色パトロールカーでの巡回活動を通じて防災減災に取り組み、災害や犯罪の無い安全で安心なまちづくりのため、地域コミュニティの活性化や強化、青少年の健全育成活動を継続して行きます。

まさに青天の霹靂に寝耳に水、棚からボタ餅の例文の通り、この度の受賞にびっくりをいたしました。どれほどの事もしていませんのに恐縮です。かつて青年団華やかなりし頃は、全国どここの地域でも村芝居が行われていたのですが、テレビの

普及や時代の流れで廃れていった様です。これを当分の消滅が復活してこれまた時代の流れで村芝居保存会へと進みました。得意はお涙頂戴の時代人情劇です。今は二年ごとに秋祭りの余興として行っています。誠に拙い芸ですが、...。かつて全国村芝居サミットで行った大分県国東市でゲストで来ておられたなだかアアの俳優の故阿藤快さんが、打ち上げの夜なべ談義で昔学校がなかった時代、人々はこのように事を通じて仁義礼智忠信孝悌を教えられ学んでいったと言われました。村の人々が役者で自選他選で配役は決めず、繰り返しになりますが、どれほどの活動もしていませんのに関係の方々に感謝と御礼を申し上げます。ありがとうございます。

善行表彰を受けて

青森県青森市

サークル虹の会



このたび、秋季善行表彰という栄えある賞をいただき心から感謝申し上げます。

平成十九年、婦人学級を終了した十三人の有志が地域でのボランティア活動をしようとして立ち上げたのが、サークル虹の会です。丁度、東北新幹線が、東京と新青森の開通を前に、玄関口である油川地区は、県や市と連携しながら、地域興しが始まっていた。昔はたぐさんの案山子が、田んぼの神として稲を守るために立てられていました。この地域一帯の活性化のシンボルとして復活させるイベントが、「かかしロード280」です。今年で十一回目です。虹の会も会員の知恵で、毎回優秀賞をいただいております。また小学校に手作り雑巾、中学校へはプルタブ、エコキヤップを届けています。



北海道遠軽町

長田 洋之

剣道少年団と歩んだ四十年

北海道遠軽町

長田 洋之

この度、明治神宮参集殿において、平成二十九年度秋季善行会の「青少年指導」部門での善行章を授かり、さらにご祝辞を賜り身の引き締まる思いです。私は三十代始めに縁がありまして、少年団活動

のお手伝いをする事となり、二地区において指導に携わり現在に至っております。思い出して見ますと、年々指導しているのは無く、子供たちに勉強の場を与えられているのだからと感じるようになり、その後は各種研修会に参加し、必要な資格が有れば挑戦し、それで得たものを指導の先生方、少年団員に伝えてきました。が、本日を契機に尚一層その意欲を忘れずに日々精進して参ります。今後も健康に留意し、青少年の健全育成に努めるとともに「生涯剣道」を目標にしたいと思っております。結びに日本善行会の益々のご発展をご祈念申し上げます。ありがとうございます。



静岡県沼津市

一杉 崇

剣道少年団と歩んだ四十年

一般社団法人日本善行会のおかげで何年かぶりの明治神宮に参拝させて頂きました。この度表彰を賜り誠にありがとうございます。心より感謝し、厚くお礼申し上げます。県庁・市役所よりこの話を頂きました時、まさか私ごとかと思いき、お断りをさせていたいただきました。今までも全ての表彰もお断りさせていた

頂きました。市役所の担当者からは沼津市で初めての事ですから後々の人の為にも受賞してくださいとのことでした。私は生まれが北海道利尻郡(現在は利尻富士町)の出身で大変お茶好き家族のおかげで私もお茶好きになっていました。村の人々が毎日のように飲みに来ていたのを覚えております。大学を卒業するころは幾ら高いお茶を飲んでも美味しく感じず、最後に自分で美味しいお茶を作ろうと思いついて、七十年前に飲んだ茶を目標にしましたが五十年たつた今でも理想の茶はまだありません。しかし老人施設入居の皆様には年二回(八十八夜新茶と敬老の茶)飲んでいただきたく進呈させていただきます。

背伸びをしない身の丈に合った活動をして大きな虹の橋をかけています。ありがとうございます。善行章を推薦いただきました県、市の皆様と家族社員に心より感謝いたします。ありがとうございます。